

第4回（平成30年度第1回）奄美保健医療圏地域医療構想調整会議 の開催結果について

- ・開催日時 平成30年11月7日（水） 午後6時30分～午後8時30分
- ・開催場所 大島支庁4階大会議室
- ・出席者 25名（代理出席9名を含む）、欠席者 1名
- ・傍聴者 13名（随行者2名を含む）

1 議事

- (1) 報告：平成29年度病床機能報告（確定数）について
- (2) 協議：
 - ア 平成30年度地域医療介護総合確保基金事業補助金について
 - イ 県立大島病院の「公的医療機関等2025プラン」の合意形成について
 - ウ 「協議の進め方」及び各医療機関の説明計画について

2 協議内容

ア 平成30年度地域医療介護総合確保基金事業補助金について

申請予定がある医療機関からの説明及び調整会議としての意見取りまとめ

【名瀬徳洲会病院】＜主な質疑と回答＞

（委員）高度急性期病床を更新するということか。

（回答）更新である。

（委員）今までの機器は何年くらい使用してきたか。

（回答）約6年は使用している。一番はセントラルモニタで、心電図の記録等残す機能を更新しないと使えない状況である。書類にも記載したが、不具合が生じているのものもあるので、来年度には更新しないと難しいと考えている。

※【調整会議としての意見（補助金活用の可否）可

イ 県立大島病院の「公的医療機関等2025プラン」の合意形成について

県立大島病院が平成30年1月の第3回奄美保健医療圏調整会議にて説明した「公的医療機関等2025プラン」について協議

＜主な意見と回答＞

（委員）休床50床は廃止を検討という段階で、まだ決定ではないのか。

（回答）現在、廃止となっている。

（委員）50床を減らすことで何かこれまで出来たことが出来なくなる等の変化はないのか。

（回答）10年以上前から病床として使用していないため、特に今の形と変わらない。

（委員）50床を減らすだけでいいのか、その辺りの検討が必要。

（委員）現在、耳鼻咽喉科、精神科の常勤医がいないが、仮に耳鼻咽喉科の常勤医が獲得されるとしたら、病床数を増やす可能性もあるのか。

（回答）病床数の増床を提案していかないといけないかもしれない。

＜協議結果＞

県立大島病院作成の「公的医療機関等2025プラン」については、合意形成がなされた。

ウ 「協議の進め方」及び各医療機関の説明計画について

協議イ、ウにおいて、資料3～7頁、3～8頁に基づき、「合意形成が必要な事項」や「個別の医療機関ごとの対応方針の決定のために協議する内容」等について事務局より説明した。

また、資料3～7頁の1（1）②その他 病床が全て稼働していない病床を有する医療機関、新たな病床を整備する予定の医療機関、開設者を変更する医療機関が地域医療構想調整会議に出席し必要な説明を行うことについての質問があり、説明を行った。

＜協議結果＞

「協議の進め方」及び各医療機関の説明計画について反対意見はなく、今後は資料5に記載された順序に基づき、各医療機関の2025年に向けた計画等について説明を行う予定である。

3 その他

上記の意見以外にも人材確保の難しさや医療と介護の連携の必要性、病床削減に係る補助金活用の要望等について意見が出された。

国や県の方向性も参考にしながら、今後、専門部会、調整会議を開催する。